

CLOSE UP!



顎変形症

歯の矯正治療だけでは治せない
咬み合わせの異常は、
歯を支えている顎の骨に問題があります。

● 正常な咬み合わせとは… 咬み合わせた時に上の歯が下の歯よりも少し前に出ている状態

● 咬み合わせの異常の種類

1

歯が原因のもの

あごの骨に対して
歯が大きい、小さい

↓

歯の
矯正治療

2

あごの骨と歯が原因のもの

上あご・下あごが前に
突き出ている、引っ込
んでいる、歪んでいる

二 顎変形症

歯の矯正治療だけでは治すのが困難
で、歯の矯正治療に加えてあごの骨
を移動させる手術が必要となります。
顎変形症治療は保険適用です。
例: 発育異常、顎顔面外傷、
先天性の疾患(口唇口蓋裂など)

● 咬み合わせの異常による障害

生理的(機能的)障害	心理的(審美的)障害
<ul style="list-style-type: none">● 口腔清掃不良によるう蝕や歯周疾患の発生● 咀嚼機能障害 ● 発音障害	顔貌や歯並びを気にして劣等感をもったり、消極的になったりする。 このため、社会生活に支障をきたすことがある。

顎変形症の治療は咬み合わせを治すことが第一ですが、治療後には顔の変形も改善されます。歯並びや咬み合わせだけでなく見た目を気にされている方は、一度近くの矯正歯科や当院口腔外科に相談のうえ、悩みを解決してください。

■説明は、
徳島大学病院 歯科口腔外科
永井 宏和(ながい ひろかず) 准教授

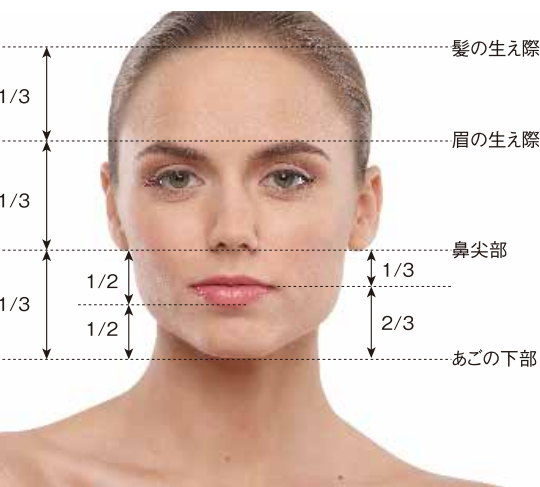


● 顎変形症の治療

開始年齢 成長が落ち着く高校生以降

治療計画 レントゲンや顔の写真、歯型などから診断し、黄金比(図1)やE-Line(図2)を参考にして画像シミュレーションを行い、どの骨をどれくらい移動させるかを検討(図3)

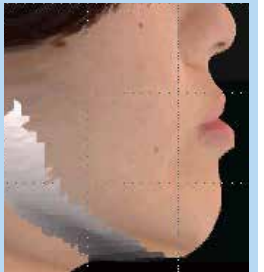
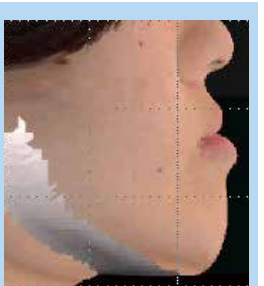
術前矯正治療(1~2年)
手術(10~14日の入院)
術後の矯正(半年~1年)
保定(夜間マウスピースの装着)(3~4年)



↑(図1)顔面の黄金比



↑(図2)E-lineとは、下あごの先端部と鼻尖部を通過する接線のこと。
口唇先端の位置がE-lineにほぼ一致すると、調和がとれている



↑(図3)コンピュータグラフィックスによる手術シミュレーション
(上が手術前、下が手術後)